

「スピカ」の登録団体レポート② 広報させばを読む会

とき 9月25日
ところ 「スピカ」 創作室



「スピカ」で活動している登録団体の一つ、「広報させばを読む会」(宮野由美子代表)は、自分が住むまちの行政に関心を持ち積極的に行動しようと、平成14年の夏に結成され、現在は、12人の会員が月1回集まり「広報させば」を読み、意見を交わしています。

会員の皆さんが心掛けているのは、情報は自分の目で確かめるといこと。疑問があれば、直接、市役所の担当部署を訪ねて質問をしたり、市議会を傍聴したり、出前講座を頼んで詳しい話を聞いたりと活発に行動しています。

昨年度のスピカまつりでは、本市と同規模の九州・山口管内の市や県内他市町の広報紙を取り寄せ、読み比べ、市民も参加して広報紙コンテストを行いました。

9月号の話題の中心は、特集の中にあつたごみ処理問題で、会員からは賛否両論の意見が出され、話はごみ処理からさまざまな方面へと広がっていきました。

「スピカ」の施設レポート 図書・交流コーナー

蔵書紹介



「男だてら」に「女泣き」
著者：奥山和弘
発行：(株)文芸社

国語辞書に「女だてら」や「男泣き」はあっても「男だてら」、「女泣き」がないのはなぜでしょう。

女性は泣いて当然、男性は強くて当然という風潮がまだまだ残っているこの世の中。男女共同参画社会についての入門書ともいえるこの本で、「男とは、女とは」という固定的な枠組みにとらわれることなく、もっと素直に感情表現しコミュニケーションが取れる、多様な生き方を考えてみませんか。

「スピカ」に入っすぐの「図書・交流コーナー」では、新聞や雑誌、本を読んだり、勉強をしたりといつも大勢の人でにぎわっています。

「生き方」、「家族のあり方」、「心と体」、「医療」、「労働」、「DV(ドメスティックバイオレンス)」など、男女共同参画の視点から集められた蔵書数は約3,000冊。閲覧だけでなく、利用者カードを作成すると本の貸し出しも受けられます。また、ビデオ(約160本所蔵)を鑑賞するコーナーや、インターネット検索ができるパソコン2台も設置してあります。



デートDVを知っていますか
NPO法人DV防止ながさき編

夫や恋人など親しい間柄の男性から暴力を受けたり一方的に支配されたりする「DV」は、高校生や大学生など若い世代のカップル間でも行われていることを知っていますか。

県内の高校生・大学生3,200人を対象に行われた「デートDV」に関するアンケートから浮かび上がってきた現状や、相談窓口(※)などを紹介。デートDVを防止するために、若い人たちに読んでもらいたい冊子です。

「スピカ」のイベントレポート③ おこづかい楽習ゲーム

とき 8月27日
ところ 「スピカ」 研修室2



毎年、夏休みに開催されている「おこづかい楽習ゲーム」は、子どもたちに好評の企画です。

テレビや新聞でお金についてさまざまな問題が取り上げられている今の時代に、将来を担う子どもたちが計画的にお金を使える大人になれるようにと開催されています。ことしは8月27日に小学生と保護者20組が参加して開催され、すごろく式カードゲームで、お金の使い方について勉強をしました。

カードで購入を指示された品物が自分にとって必要なものか、お金を得るためにはどうすればいいのかを子どもたち自身が考えながらゲームが進められ、さいころが振られるたびに、歓声やため息が聞こえていました。

子どものうちに健全な金銭感覚を身に付けることは、とても大事なことでと認識でき、保護者にとっても有意義な時間となったようでした。

2年前、絵本を通してコミュニケーションの輪を広げようと始まった、絵本の読み聞かせサークル「おにぎりキッズ」は、毎月最終金曜に開かれています(参加料無料)。

絵本を読むことで子どもだけではなく、母親もゆったりとした気分になり、育児中にたまっていたストレスの発散の場になると口コミで広まり、毎回、20~30人の親子が集まっています。時には、「スピカ」に遊びにきた親子が飛び入りで参加することもあるそうです。

計画から運営まで、絵本や紙芝居以外はすべてスタッフのお母さんたちの手作りで、最後には、母親たちが輪になって話し合う「ママズトーク」という子育てに関する情報交換の場が設けられ、元気をもらえるとお母さんたちには好評です。

「子どもがいると外に出るまでが大変ですが、出てみるととても楽しいですよ。これをきっかけに、たくさんのお母さんに外に出てほしいですね」と代表の増田信子さん(峰坂町)は参加を呼びかけています。

「スピカ」の登録団体レポート① おにぎりキッズ

とき 9月28日
ところ 「スピカ」 研修室2



募集

「男女共同参画計画」改訂に関する意見募集

平成14年3月に策定した「男女共同参画計画」の改訂案が、10月9日、佐世保市男女共同参画審議会から市へ答申されました。この改訂案について、市民の皆さんからのご意見を募集します。

閲覧開始
11月1日(木)

閲覧場所など

市役所6階行政資料閲覧コーナー、各支所、各行政センター、各地区公民館
男女共同参画推進センター「スピカ」
(アルカスSASEBO2階、市ホームページ)

応募方法

住所、氏名、四百字程度にまとめた意見を、郵送〒857-0863、三浦町2の3)、ファクス、Eメール(danryo@city.sasebo.lg.jp)と男女共同参画課へ
募集期間
11月1日(木)~11月30日(金)必着

男女共同参画課
☎ 23・3828 FAX 23・3880

男女共同参画社会の実現に向けて

平成十一年の男女共同参画社会基本法の公布・施行後、国内でも男女の人権は平等だという風が吹き始め、本市でもその風は弱いながらも吹き続け、市民意識調査の結果にも表れています。

男女共同参画社会の実現は女性だけの問題ではなく、男性にも重要なことで、誰もが生活的・精神的自立をし、自分作りをすることが大切です。

世代によって受けた教育は違いますが、生活する中でどのようにしたら相手を認め合えるか、一方的な役割の押し付けではなく、お互いが向かい合い話し合うことが必要です。

「スピカ」は、若い人たちが子育て世代だけではなく、すべての人が触れ合う場、仲間作りの場、学び合う場として、気軽にリフレッシュするために利用できる皆さんのための広場です。

男女共同参画課・男女共同参画推進センター「スピカ」
☎ 23・3828

(※)NPO法人DV防止ながさき 相談電話095-832-8484(毎週水曜13時~17時、19時~21時)